

第3学年 国語科学習指導案

日時：平成28年11月18日 第5校時

場所：3年1組教室

(男子18名 女子16名)

1. 単元名・教材名 れいをあげてせつめいしよう

食べ物のひみつを教えます

2. 単元の目標

目的に適した事例を挙げながら、「初め」「中」「終わり」の文章を書くことができる。

【指導事項 書(1)ウ】

3. 単元指導計画(全8時間)

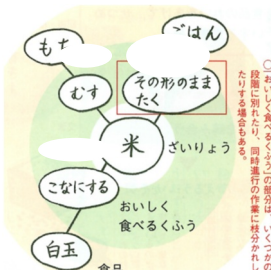
次	時	ねらい	学習活動	評価
第1次	第1時・第2時	・説明の工夫について振り返り、食べ物のひみつを教える「ひみつブック」を書くための見通しをもつことができる。	食べ物のひみつを説明した文章を「ひみつブック」として紹介し、活動のゴールを知る。 単元のめあてを確認する。 「ひみつブック」で、食べ物のひみつをしようかしよう。 「すがたをかえる大豆」での学習を想起し、学習計画を立てる。 米・(麦)・とうもろこし・牛乳・魚・いも(じゃがいも・さつまいも)の中から、紹介したいと思う食材の一つを選ぶ。	【書】文章を書く流れや組み立てを理解し、学習計画を立てることができる。(発言・ノート) 【関】身の回りの食品に興味をもち、紹介する食材を決めることができる。(発言・ノート)
	第3時(本時)	・選んだ食材がどのように姿を変えて食べられているのかをグループで図に書き表すことを通して、「中」の部分における具体例を自分で決定することができる。	本時の課題を確認する。 ひみつブックの「中」の部分に書く内容を決めよう。 図で整理する方法を確認し、材料ごとのグループに分かれる。 グループごとに話し合い、「おいしく食べるくふう」と「食品のれい」を図にまとめる。 図で整理したことをもとに、「中」で挙げる事例を表にまとめる。 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。	【書】書く目的や説明する文章の構成を理解し、「中」における具体例を挙げることができる。(観察・ノート)
第2次	第4時・第5時	・分かりやすく説明する文章について考え、「初め」「中」「終わり」の構成で組み立てを考えることができる。	本時の課題を確認する ひみつブックを分かりやすくするための方法を考えよう。 「すがたをかえる大豆」の学習や作例をもとに、分かりやすく説明する文章の組み立てを確認する。 組み立てを考え、構成表を作成する。	【書】分かりやすく説明する文章の書き方をもとに、「初め」「中」「終わり」の構成で組み立てを考えることができる。(ノート)

	第6時・第7時	・具体例を挙げながら，構成や表現に気をつけて，文章を書くことができる。	本時の課題を確認する。 食品のれいをあげて，ひみつブックを書こう。 前時に作成した構成表に沿って，文章の下書きを書く。 友達と読み合い，より分かりやすい文章にするためにアドバイスをする。 アドバイスの内容をもとに清書する。	【書】適切な具体例や接続語を用いて，「初め」「中」「終わり」の構成で文章を書くことができる。（文章） 【書】自分や友達の文章を読み，より良い表現を考えて書くことができる。（発言・文章）
第3次	第8時	・文章を読み合い，互いの文章の良いところを伝え合うことができる。	本時の課題を確認する。 ひみつブックを読み合い，分かりやすくせつめいするポイントを見つけよう。 感想の視点を確認する。 友達の文章を読み合い，良いところを伝える。 交流を通して気付いたことをまとめる。	【関】友達の文章を読み，良いところを見つけ伝えている。（発言） 【書】分かりやすく説明するための文章について理解を深めている。（発言・ノート）

4．本時のねらい

選んだ食材がどのように姿を変えて食べられているのかをグループで図に書き表すことを通して、「中」の部分における具体例を自分で決定することができる。

5 本時の活動（3 / 8）

学習活動	指導・援助・評価
1 本時の課題を確認する。 ひみつブックの「中」の部分に書く内容を決めよう。 2 図で整理する方法を確認し，材料ごとのグループに分かれる。 - 中心に「ざいりょう」を書き，外側の円に「食品」を書く。グループで「おいしく食べるくふう」を話し合って書き込み，線でつなげばよい。 グループ - 米 （麦） - とうもろこし - 牛乳 - 魚 - いも （じゃがいも・さつまいも）  3 グループごとに話し合い，「おいしく食べるくふう」と「食品のれい」を図にまとめる。 「米」は，「ごはん」になるね。家で，お米を炊いているから，「おいしく食べる工夫」は「炊く」だね。 「魚」は，「かまぼこ」になっていると聞いたよ。でも，どんな「おいしく食べる工夫」がされているのだろう。 - 本を読むと，「すり身にして混ぜ合わせる」と書いてあるよ。だから「おいしく食べるくふう」は「すり身にする」で良さそうだね。 4 図で整理したことをもとに，「中」で挙げる事例を各自表にまとめる。 5 本時を振り返り，次時への見通しをもつ。 - グループで話し合って図に整理したので，自分で表にまとめることができた。 - 表にまとめたことを「中」の具体例にすれば，食べ物やひみつを紹介する文章が書けそうだ。	1 前単元で学習した文章の組み立てや学習計画を示し，本時の学習内容が，説明する文章の「中」における具体例につながることを押さえる。 - 自分が選んできた材料が使われている食品について，「おいしく食べるくふう」が分かれば，「中」の部分が書けることを押さえる。 2 教科書の例を示しながら，図で整理する方法を確認する。 - 選んだ材料ごとにグループ分けを行っておく。 - 事前に，選んだ材料が変身している食品を調べてくる。 - 選んだ食材について調べられそうな本を選び，読んでおく。 3 【研究の視点 小グループ学習の実践（コミュニケーション活動の位置づけ）に関わって】 本時は，小グループによるマッピングを取り入れた活動を行う。グループでの話し合いを通して，完成したマッピングの中から一人一人が自分の「ひみつブック」の「中」で紹介したい具体例を決定できることを目指す。 【研究の視点 効果的な「問い」の明確化と指導援助の工夫に関わって】 本時では，問題づかみにおいて，「材料」と「食品」のみが書かれた図を示す。「中」の部分を書くためには「おいしく食べるくふう」が必要なことを視覚的に確認し，一人一人が話し合いの目的を理解して活動できることを目指す。また，マッピング用紙を色分けすることでも，課題や活動内容を視覚的に理解できるようにする。 4 グループで整理した図の中から，自分の文章で具体例として扱いたいものを3つ選び，ノートの表にまとめる。 評価規準【書】 書く目的や説明する文章の構成を理解し，「中」における具体例を挙げることができる。